

論文発表会日程一覧

※発表会日時順

論文発表会日時 / 場所		研究領域	氏名	論文題目
12月11日(水)	13:30-14:30 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 1F 第2講義室	文化財保存学 (保存修復油画)	李 艶峰 20世紀前半期における中国人留学生の油画技法と表現に関する研究 -東京藝術大学所蔵の《自画像》を中心として-
	" 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 2F 第3講義室	芸術学 (日本・東洋美術史)	閻 志翔 鑑真と奈良時代後期の仏像史一造形・思想・儀礼
13日(金)	10:30-11:30	大学美術館 B2 展示室1	建築 (建築理論)	山口 誠 隣り合うマチエール 庭園にみられる差の並置に関する研究
	"	大学美術館 3F 展示室3	油画	諏訪 葵 触れない接面 捉え切れない世界を見るために
	13:00-14:00	A&S Lab. エントランスギャラリー	油画	菅野 歩美 オルタナティブ・フォークロアによる場所の再編
16日(月)	10:00-11:00	大学美術館 2F テラス	彫刻	スクリブカリウ落合 安奈 ひとつの身体・ふたつの国 国際結婚と帰属意識をめぐる芸術実践
	10:30-11:30	正木記念館	グローバルアート プラクティス	ウォーラー カミ Material and Meaning: Navigating Extrinsic Pressures and Intrinsic Values in Ceramic Practice
	11:30-12:30	大学美術館 2F テラス	デザイン	伊川 絵理 運筆集積性がもたらす文字の「息遣い」による視覚効果 -江戸時代染織と絵画における反故染模様の利用を例に-
	13:00-14:00	大学美術館 B2 展示室2	油画 (壁画)	直島 なぎさ カメラで他者を映す行為で現れる「内なるアジール」
	13:30-14:30	大学美術館 B2 展示室1	デザイン	高井 碧 肖像としての家具
	14:00-15:00	大学美術館 B2 展示室2	先端芸術表現	日原 聖子 「共同」が芸術実践に結び付くとき 千人針習俗とチェコのアクションアートにおける「共同」に関する考察を出発点として
	14:45-15:45	大学美術館 3F バルコニー	先端芸術表現	東 弘一郎 職人およびエンジニアと立体造形作家の共創についての研究と実践 -製造業と現代美術の融合の価値-
	15:00-16:00	大学美術館 B2 展示室1	デザイン	万年 竹の張力による情緒的な造形と空間の研究 ハンブーストラクチャーによるしなやか構造の可能性
	15:30-16:30	陳列館 1F	油画 (壁画)	渡邊 慎二郎 「環境に浸ることで反転する主体」
	"	大学美術館 3F 展示室3	油画 (技法・材料)	長谷川 雅子 心を図解する
16:00-17:00	大学美術館 B2 展示室2	先端芸術表現	村田 冬実 写真とコンセプトからアプロプリエーションへ -アートにおけるフレーミング-	
17日(火)	11:30-12:30	中央棟 1F 第2講義室	芸術学 (美術教育)	藤澤 穂奈美 現代アートにおける動物問題
	14:00-15:00	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	唐 詩慧 デジタル時代のレディメイド:既製のソフトウェアとアーティストの相互作用の探究 ~現代の合成技術と美術におけるあたらしいアスペクト~
	15:00-16:00	大学美術館 B2 展示室1	工芸 (彫金)	金 希帥 心のかたち -金属糸を使つたくるむ行為によるジュエリー研究
	"	大学美術館 3F 展示室3	日本画	三品 太智 林立の絵画 反復のリズム
	16:00-17:00	大学美術館 B2 展示室1	工芸 (彫金)	石 芮寧 有の断片、無の瞬間 -透し彫りによる形と影のジュエリー表現-
	"	大学美術館 3F 展示室3	先端芸術表現	久木田 茜 装飾の生命力 モデル・反復・形象を中心とした考察
18日(水)	10:30-11:30	大学美術館 3F 展示室3	日本画	宇野 七穂 人を相対化する表現
	12:30-13:30	陳列館 2F	グローバルアート プラクティス	田原 唯之 〈共に在ること〉を前提とした〈関係としての場所〉
	14:00-15:00	大学美術館 2F テラス	油画 (版画)	ラウス ルイーズ Diffracting Communities (回折する共同体) Post-Digital Unbelonging and the Emergent States of Printmaking (ポストデジタル所属と創発するステート・境りの段階)
	14:30-15:30	陳列館 1F	油画 (壁画)	福田 周平 素材における予測不可能な変化を拓く 空間 / 状況 / 場の拡張をめぐって
	16:00-17:00	陳列館 2F	グローバルアート プラクティス	サツパボン サリーナ Performative Spatial Dynamics: Dialogues between connection and dis-location in the nexus of self-and collective consciousness
19日(木)	10:30-11:30 論文審査のみ 作品審査なし	中央棟 1F 第2講義室	文化財保存学 (保存修復油画)	ミクロブル エフシミア 19世紀の日本における紙に描かれた油彩画の特徴と劣化
	10:30-11:30	大学会館 展示室	先端芸術表現	鈴木 萌夏 レントゲン藝術研究所とその周縁 1990年代前半の東京における現代美術
	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	油画 (技法・材料)	李 泊衡 「内なる大陸」を描くために
	13:30-14:30	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	聶 澤文 中国発光都市の光と影、その建築的写真による現代表現について
	14:00-15:00	中央棟 2F 第8講義室	工芸 (染織)	単 璐薇 テキスタイル表現における記憶のリフレームの可能性について
	10:30-11:30	大学美術館 3F 展示室3	日本画	李 雨晨 路上の徘徊、夜の町「山水」
20日(金)	11:30-12:30	大学美術館 3F 展示室3	日本画	張 鶯 現代アートにおける「写意」 -「不似之似」に対するメディウムの探求
	13:00-14:00	大学美術館 B2 展示室2	工芸 (染織)	曾 斯琴 染織の模様表現における「参加」の可能性について コミュニケーションをベースとした「内容的参加」の提案
	"	大学美術館 3F 展示室3	日本画	岡路 貴理 かける窓 -室内から見る風景-
	15:00-16:00	大学美術館 B2 展示室1	工芸 (漆芸)	李 沛沛 芳華流転 サボテンをモチーフにした乾漆造形と装飾の活用
	15:30-16:30	大学美術館 3F 展示室3	工芸 (鍍金)	中根 絢女 からだを解く -プロセスの境界-
	14:00-15:00	大学美術館 3F 展示室3	工芸 (ガラス造形)	鈴木 茜理 芸術作品に想いほどのように宿り、人々に記憶されていくのか

※上記、論文発表会は一般公開しておりますが、混雑状況により人数制限をする場合がありますのでご了承ください。

2024.12.10